



盆栽の魅力を伝え続けて20年 風格漂う「生きた芸術」たちが集う盆栽苑



「床飾り/寒桜」掛け軸、草物盆栽（ヤブコウジ）と合わせて空間を演出



針金かけによる整姿作業を行う鈴木さん(1/12撮影)

国営昭和記念公園（立川市・昭島市）の日本庭園内にある「盆栽苑」は、昨年11月3日に開苑20周年を迎えた我が国初の本格的な国営盆栽施設で、時を経て風格漂う「生きた芸術」と呼ぶにふさわしい盆栽をご覧いただけます。また、自然の美しさを凝縮した盆栽は、職人の手仕事が加わり深みを増します。公園内で盆栽の素晴らしさとその奥深さを伝えてきた盆栽苑について、取材・記事の掲載のほどよろしくお願ひいたします。

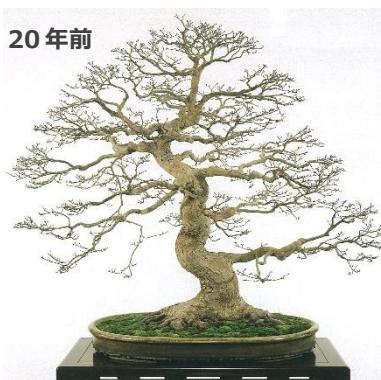
盆栽いまむかし Bonsai past and present モミジ「清玄」 Japanese maple variety



写真1 第1回展(1988年)
写真2 第17回展(2003年)
写真3 (1996年)
写真4 (1997年)
この20年間で200余回の展示、数々の賞に輝いています。
写真1
二年目はまだ根も締め、特に足元右側の根の張り出しがため、安定感が得られません。
写真2
根が成長して根張りも確実化され、幹の右側に張り出していた根が縮んでしまった。幹と日本松葉内側(左側)から後ろの枝丈間に「せき」と呼ばれる骨董的で美しい背景空間になりました。2018年の地主賞受賞時に日本松葉内側に根張りが現れ、「奇縁」へ昇進しました。現在は幹の太さが大きくなり太く太く幹を纏め、細い根が伸びて根張りが広がっている塊根木盆栽形態を呈しています。又、四季折々の葉の変化を楽しむ高齢木盆栽です。
写真3
モミジ「清玄」の誕生日。
写真4
モミジ「清玄」の誕生日。
この20年間で200余回の展示、数々の賞に輝いています。
写真5
根張りが広がり、葉の色が緑色のもの。
写真6
根張りが広がり、葉の色が緑色のもの。
写真7
根張りが広がり、葉の色が緑色のもの。

現在、「盆栽いまむかし」と題し、開苑当初時代からある盆栽がどのように変化したかを写真パネルにして展示しています。また、海外では、「BONSAI」という言葉が一般的に通用するほど人気が高く、外国人観光客の来園も増えているため、英語表記を新たに追記しました。

20年前



■モミジ「清玄」(セイゲン) 推定樹齢110年
開苑を機に寄贈いただいたもので、過去2回
国風盆栽展に出展している名品。



【寒樹】かんじゅ
葉が落ち、繊細な枝先
や存在感のある幹の美
しさを楽しめる時期

◆現在の様子
根は安定感と力強さが増
し、幹と枝のバランスも良
く、当公園の花形的存在

【開苑当初から盆栽苑を支え続ける2人の専属スタッフ】

開苑から20年、繊細な手入れによって、歴史と伝統のある国風盆栽展クラスの名品盆栽の管理を担っています。また、季節やタイミングによっては、植替えや葉すかしの作業をご覧いただける機会もあります。

施設の顔 鈴木さんと矢部さん

開苑から間もなくして、植替え作業などの実演を行うなど、盆栽の手入れの奥深さなどを発信。今では、盆栽の工程作業を体験し、表現する楽しさを知ってもらおうと「盆栽教室」を開催。子どもから大人まで楽しめ、キャンセル待ちが出るほどの人気となっています。ともに盆栽の魅力と、普段目につくことの少ない「作業」という裏側も伝える二人です。



鈴木さんと矢部さんの作業風景

お問い合わせ 国営昭和記念公園 国営昭和記念公園管理センター 企画グループ 広報チーム：林・黒岩・原島

〒190-0014 東京都立川市緑町3173 <https://www.showakinen-koen.jp>

代表番号：042-528-1751 FAX：042-522-0580

公式SNSもご覧ください X@showakinenpark instagram@showakinenpark facebook@showakinenkoen